

平成 27 年度第 4 回島根大学医学部医の倫理委員会 議事要旨

日 時 平成 27 年 7 月 27 日 (月) 15 時 00 分～17 時 40 分

場 所 医学部本部棟 5 階 第一会議室

出席委員 原田守 (委員長・議長)、廣瀬昌博 (副委員長)、竹下治男、土屋美加子、長井篤、
村川洋子、矢田昭子、中村守彦、山崎亮、平埜茂彰、布野信之

欠席委員 森田栄伸、橋本由里

事務局 椿麻由美

陪 席 井川幹夫、味本知宜、富井裕子

【成立要件の確認 (医学部医の倫理委員会規則第 5 条)】

出席者数/全委員数 11 名/13 名

出席者内訳 自然科学の有識者 7 名、人文・社会科学の有識者 2 名、一般の立場の者 2 名、
本学部に所属しない者 4 名、男性 8 名、女性 3 名

議題 1 前回の医の倫理委員会議事要旨の確認

資料番号 1

平成 27 年度第 3 回医学部医の倫理委員会 (平成 27 年 6 月 22 日開催) の議事要旨を了承した。

議題 2 申請案件の審査 (通常審査)

1. 申請者出席による審査 (9 件)

管理番号	20150615-1	種別	医学系研究	資料番号	2
審査事項	研究の実施				
課題名	エゴマ油摂取と七田式脳トレによる高齢者認知症予防効果の検証				
申請者	橋本 道男 (環境生理学 准教授)				
審査内容	質問・意見は特になし				
審査結果	承認				

管理番号	20150615-2	種別	医学系研究	資料番号	3
審査事項	研究の実施				
課題名	酸分泌抑制薬抵抗性胃食道逆流症におけるアコチアミド併用が胃食道逆流と逆流症 状に与える影響-無作為化平行群間プラセボ対照二重盲検比較試験-				
申請者	木下 芳一 (内科学第二 教授)				
審査内容	研究実施体制に関する質問、説明文書の一部修正についての意見が出された。				
審査結果	条件付承認 【承認の条件】 説明文書の次の箇所を修正すること。				

	<p>3. 臨床研究への参加について</p> <p>「あなたに対する<u>今後</u>に不都合が起こることは全くありません。」</p> <p>→「あなたに対する<u>今後の対応</u>に不都合が起こることは全くありません。」</p> <p>12. プライバシー保護について</p> <p>「・・・<u>倫理審査委員会</u>の委員、研究機関の長・・・」</p> <p>→「・・・<u>倫理委員会</u>の委員、研究機関の長・・・」</p>
--	---

管理番号	20150606-1	種別	医学系研究	資料番号	4
審査事項	研究の実施				
課題名	サイトメガロウイルス角膜内皮炎及び虹彩炎に対する 0.5%ガンシクロビル点眼の効果の検討				
申請者	今町 克枝（眼科 医科医員）				
審査内容	対象となる疾患の原因、患者背景、想定される治療期間、再燃の割合について質問があった。				
審査結果	承認				

管理番号	20150615-3	種別	医学系研究	資料番号	5
審査事項	研究の実施				
課題名	ステロイドナীবの活動期潰瘍性大腸炎患者における集中的顆粒球単球吸着除去療法（intensive GMA）の治療効果と便中カルプロテクチンの推移の相関				
申請者	石原 俊治（内科学第二 准教授）				
審査内容	GMA の方法に関する質問、説明文書の一部修正についての意見が出された。				
審査結果	<p>条件付承認</p> <p>【承認の条件】</p> <p>説明文書の次の箇所を修正すること。</p> <p>10. 個人情報の取り扱い</p> <p>「・・・将来、重要な<u>見当</u>が必要となるような場合、・・・」</p> <p>→「・・・将来、重要な<u>検討</u>が必要となるような場合、・・・」</p>				

管理番号	20150615-4	種別	医学系研究	資料番号	6
審査事項	研究の実施				
課題名	ステロイドナীবで集中的顆粒球単球吸着除去療法（intensive GMA）により粘膜治癒に至った潰瘍性大腸炎患者の再燃に対する再 Intensive GMA の有効性に関する研究 ～多施設共同研究～				
申請者	石原 俊治（内科学第二 准教授）				
審査内容	GMA の方法に関する質問、説明文書の一部修正についての意見が出された。				
審査結果	<p>条件付承認</p> <p>【承認の条件】</p>				

	<p>説明文書の次の箇所を修正すること。</p> <p>3. この研究の目的と意義、研究の対象となる方 「・・・ステロイドの代替えとして十分である報告していますが、・・・」 →「・・・ステロイドの代替えとして十分であると報告していますが、・・・」</p> <p>10. 個人情報の取り扱い 「・・・将来、重要な見当が必要となるような場合、・・・」 →「・・・将来、重要な検討が必要となるような場合、・・・」</p>
--	---

管理番号	20150615-5	種別	医学系研究	資料番号	7
審査事項	研究の実施				
課題名	健常人におけるモサプリドの上部食道括約筋に及ぼす効果に関する研究				
申請者	三上 博信（消化器内科 医科医員）				
審査内容	ボランティアの募集方法に関する質問、説明文書の一部修正についての意見が出された。				
審査結果	条件付承認 【承認の条件】 説明文書の「7. あなたに負担いただく費用」に研究対象者が負担する費用と研究対象者に支払う費用が書かれているため、タイトルを修正し、文章もわかりやすく修正すること。 ※備考：ボランティアの選定は適正に行うこと。				

管理番号	20110729-5	種別	医学系研究	資料番号	8
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更				
課題名	非アルコール性脂肪性肝疾患のバイオマーカーについての検討				
申請者	飛田 博史（肝臓内科 助教）				
審査内容	研究の実施状況と研究計画の変更内容について次の意見が出された。 予定症例数 20 例に対し、変更申請もなく 40 例登録されているが、侵襲を伴う研究であり不適切である。また、当初の研究目的との齟齬も生じる。 変更申請では、大幅な対象拡大がなされているが、これも当初の研究目的とは異なってきている。これは新たな研究として申請したほうがよい。 これまでの研究は終了とし、結果をまとめるべきである。予定をオーバーして登録された分については、手続きが適切でないため、データとしてそのまま利用できないが、研究に協力された患者さんの意思を尊重するため、新たな研究のほうで、あらためて同意をとるなど十分に配慮したうえで、後ろ向きデータとして利用することを許容する。				
審査結果	不承認 【理由】 研究が適切に行われておらず、変更内容も当初の目的とは異なってきている。本				

	研究は終了とし、変更申請された内容については、新たな研究として再申請すること。
--	---

管理番号	20120629-5	種別	医学系研究	資料番号	9
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更				
課題名	酸化ストレスからみた肝疾患の病態に関する検討				
申請者	飛田 博史 (肝臓内科 助教)				
審査内容	<p>研究の実施状況と研究計画の変更内容について次の意見が出された。</p> <p>肝生検は、通常診療では1回の穿刺で終了するところ、本研究では2回穿刺しているとのことであるが、侵襲は最小限にとどまるようにすべきである。通常診療と同程度の採取で、残余検体を用いるような工夫はできないか。</p> <p>当初の研究予定期間が2014年7月31日で終了しているが、その後も患者の登録が行われている。本研究の期間延長を認めるのであれば、承認の空白期間に登録された患者には事情を説明して再同意を得なければならない。</p>				
審査結果	<p>変更の勧告</p> <p>【理由】</p> <p>肝生検が最小限のリスクにとどまるよう、方法の変更を検討し、研究計画書を修正すること。修正された研究計画書は再審査を行う。</p> <p>最終的に承認された後、承認の空白期間に登録された患者には、経緯を説明して再同意を得ること。</p>				

管理番号	20150723-1	種別	医学系研究	資料番号	25
審査事項	研究の実施				
課題名	難治性食道良性狭窄に対する radial incision and cutting(RIC)法に関する研究				
申請者	沖本 英子 (消化器内科 医科医員)				
審査内容	<p>予備審査後に申請がなされた研究であるが、対象となる患者に対して早急に治療を開始したいとの要望があり、委員長の下承を得て、今回審査を行うこととなった。</p> <p>研究計画について、次の意見が出された。</p> <p>本学では初めて行う治療であり、慎重に進めなければならない。外部の経験豊富な指導医を招聘し、初回の手術に立ち会ってもらいなどの対応を検討してはどうか。</p>				
審査結果	<p>条件付承認</p> <p>【承認の条件】</p> <p>研究計画書「6.3. RIC 法の実際」に、治療の安全性確保のため、指導医の立会いなどの具体的な方策を追記すること。</p>				

2. 書面による審査 (7件)

管理番号	20120405-1	種別	医学系研究	資料番号	10
審査事項	重篤な有害事象の報告 (共同研究機関で生じたもの)				
課題名	切除不能進行・再発胃癌を対象とした TS-1/シスプラチン併用 (CS) 療法とドセタキセル/シスプラチン/TS-1 併用 (DCS) 療法のランダム化第 III 相試験				
申請者	平原 典幸 (消化器外科 講師)				
審査内容	質問・意見は特になし				
審査結果	承認				

管理番号	20101118-1	種別	医学系研究	資料番号	11
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更				
課題名	呼気中水素ガス測定による小腸内細菌過剰増殖の判定に関する研究				
申請者	木下 芳一 (内科学第二 教授)				
審査内容	質問・意見は特になし				
審査結果	承認				

管理番号	20140131-1	種別	医学系研究	資料番号	12
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更				
課題名	高齢者 (75 歳以上) 進行再発非扁平上皮非小細胞肺癌に対するドセタキセル+ペバシズマブ療法とペメトレキセド+ペバシズマブ療法の無作為化第 II 相試験				
申請者	須谷 顕尚 (呼吸器・化学療法内科 講師)				
審査内容	質問・意見は特になし				
審査結果	承認				

管理番号	20090126-2	種別	医学系研究	資料番号	13
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更				
課題名	日本ネフローゼ症候群コホート研究				
申請者	伊藤 孝史 (腎臓内科 講師)				
審査内容	質問・意見は特になし				
審査結果	承認				

管理番号	20100831-7	種別	医学系研究	資料番号	14
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更				
課題名	肺ラジオ波焼灼術の有効性ならびに安全性に関する臨床的研究				
申請者	中村 恩 (放射線科 講師)				
審査内容	研究の実施状況と研究計画の変更内容について次の意見が出された。 当初の研究予定は 2012 年 9 月に終了しており、約 3 年間、延長申請がないまま				

	研究が継続されていたことは不適切である。 その間に登録された患者には、事情を説明して再同意を得なければならない。
審査結果	承認 ※備考：承認の空白期間に登録された患者には、経緯を説明して再同意を得ること。

管理番号	20110729-2	種別	医学系研究	資料番号	15
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更				
課題名	若年性骨髄単球性白血病(JMML)に対する静注用 Bu + Flu + L-PAM 前処置法による同種造血幹細胞移植第 II 相臨床試験				
申請者	竹谷 健 (輸血部 講師)				
審査内容	申請締め切り後に申請された研究であるが、対象となる患者に対して早急に治療を開始したいとの要望があり、委員長の了承を得て、今回審査を行うこととなった。 質問・意見は特になし。				
審査結果	承認				

管理番号	20141226-7	種別	医学系研究	資料番号	26
審査事項	研究計画等の変更				
課題名	早期子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術				
申請者	京 哲 (産科婦人科学 教授)				
審査内容	予備審査後に変更申請がなされた研究であるが、早急に治療を行いたい患者がいるため、委員長の了承を得て、今回審査を行うこととなった案件である。 質問・意見は特になし				
審査結果	承認				

議題 3 迅速審査の結果の報告

原田委員長より平成 27 年 7 月 8 日に開催した予備審査委員会で迅速審査に該当すると判断し、承認したものは次のとおりである旨が報告され、異議なく了承された。

1. 研究の実施に係る申請であり、本学のみで実施するものまたは本学が主たる研究機関となる案件 (9 件)

管理番号	20150630-1	資料番号	16
審査事項	研究の実施		
課題名	担い手人間ドック受診者を対象とした内臓脂肪・動脈硬化関連 生理活性物質と生活行動に関する研究		
申請者	神田 秀幸 (環境保健医学 教授)		
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150630-2	資料番号	17
審査事項	研究の実施		
課題名	インターネット依存を主とした新しい健康リスクに関する全国学校職員調査研究		
申請者	神田 秀幸（環境保健医学 教授）		
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150630-3	資料番号	18
審査事項	研究の実施		
課題名	CADi を用いた入院患者の認知症スクリーニングの有用性の検証		
申請者	山口 修平（内科学第三 教授）		
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150615-6	資料番号	19
審査事項	研究の実施		
課題名	看護師の吸入指導に対する入院中患者へのアンケート調査		
申請者	濱口 愛（呼吸器・化学療法内科 医科医員）		
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150629-1	資料番号	20
審査事項	研究の実施		
課題名	アンケート用紙を用いた島根県における気道閉塞性疾患の現状および治療の実態調査		
申請者	濱口 愛（呼吸器・化学療法内科 医科医員）		
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150518-1	資料番号	21
審査事項	研究の実施		
課題名	リンパ系悪性腫瘍に対する造血細胞移植の後方視的探索的研究		
申請者	鈴木 律朗（臨床研究センター 准教授）		
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150518-2	資料番号	22
審査事項	研究の実施		
課題名	本邦におけるチオテパを用いた造血細胞移植の検討		
申請者	鈴木 律朗（臨床研究センター 准教授）		
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150615-7	資料番号	23
審査事項	研究の実施		
課題名	総胆管結石の内視鏡治療後再発の危険因子に関する検討		
申請者	福庭 暢彦 (内科学第二 助教)		
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150624-1	資料番号	24
審査事項	研究の実施		
課題名	液状検体における免疫染色とパパニコロウ染色を用いた二重染色法の確立		
申請者	荒木 剛 (検査部 臨床検査技師)		
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

2. 1.以外の申請案件 (18件)

管理番号	20150610-1	資料番号	
審査事項	研究の実施		
課題名	高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究		
申請者	村川 洋子 (内科学第三 准教授)		
迅速審査の理由	主たる研究機関で承認済み、侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150622-1	資料番号	
審査事項	研究の実施		
課題名	大型血管炎 (高安動脈炎と巨細胞性動脈炎) の診断・治療の現状と有効性に関する前向き観察研究		
申請者	村川 洋子 (内科学第三 准教授)		
迅速審査の理由	主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲を伴う研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150616-1	資料番号	
審査事項	研究の実施		
課題名	FGFR 遺伝子変化等の稀な遺伝子変化を有する肺扁平上皮癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究		
申請者	中尾 美香 (呼吸器・化学療法内科 講師)		
迅速審査の理由	主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲を伴う研究であって介入を伴わない		

管理番号	20150629-3	資料番号	
審査事項	研究の実施		

課題名	非アルコール性脂肪肝疾患（NAFLD）肝細胞癌における糖鎖マーカー WFA+M2BP の検討
申請者	佐藤 秀一（光学医療診療部 准教授）
迅速審査の理由	主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲を伴う研究であって介入を伴わない

管理番号	20131018-1
審査事項	研究計画等の変更
課題名	RET 融合遺伝子等の低頻度の遺伝子変化陽性肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究
申請者	須谷 顕尚（呼吸器・化学療法内科 講師）
迅速審査の理由	主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲を伴う研究であって介入を伴わない

管理番号	20140714-3
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更
課題名	Bone SPECT の定量解析の研究
申請者	山本 泰司（放射線部 放射線技師長）
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない

管理番号	20140714-4
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更
課題名	半導体カメラによるドーパミントランスポータの撮像
申請者	北垣 一（放射線医学 教授）
迅速審査の理由	軽微な侵襲を伴う研究であって介入を伴わない、軽微な変更

管理番号	20150525-1
審査事項	研究計画等の変更
課題名	脂質項目および含窒素項目測定試薬の妥当性および有用性評価
申請者	野津 吉友（検査部 副臨床検査技師長）
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない、軽微な変更

管理番号	20131218-1
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更
課題名	呼気中水素ガス測定による肝疾患症例の小腸内細菌過剰増殖の判定に関する研究
申請者	飛田 博史（肝臓内科 助教）
迅速審査の理由	軽微な侵襲を伴う研究であって介入を伴わない

管理番号	20140731-6
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更
課題名	LAMP 法を用いたサイトメガロウイルス β 2.7mRNA 検査法の臨床的有用性
申請者	松田 親史 (検査部 臨床検査技師)
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない、軽微な変更

管理番号	20140731-7
審査事項	研究実施状況報告、研究計画等の変更
課題名	HBV の preS/S 領域の遺伝子変異株調査と HBs 抗原試薬との反応性に関する研究
申請者	松田 親史 (検査部 臨床検査技師)
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない、軽微な変更

管理番号	20150330-1
審査事項	研究計画等の変更
課題名	Low-Density Lipoprotein (LDL)アフェレシス療法の重度尿蛋白を伴う糖尿病性腎症に対する多施設臨床試験
申請者	伊藤 孝史 (腎臓内科 講師)
迅速審査の理由	軽微な変更

管理番号	20150226-1
審査事項	研究計画等の変更
課題名	保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究ーダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討ー
申請者	伊藤 孝史 (腎臓内科 講師)
迅速審査の理由	軽微な変更、主たる研究機関で承認済み

管理番号	20130228-2
審査事項	研究計画等の変更
課題名	島根県出雲市における細菌性肺炎に関する疫学調査
申請者	磯部 威 (呼吸器・臨床腫瘍学 教授)
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない、軽微な変更

管理番号	20140331-3
審査事項	研究計画等の変更
課題名	島根県における消化器外科手術の POSSUM scoring system の改良に関する研究

申請者	林 彦多 (消化器総合外科 助教)
迅速審査の理由	侵襲を伴わない研究であって介入を伴わない、軽微な変更

管理番号	20140922-1
審査事項	研究計画等の変更
課題名	自閉症スペクトラム障害に対する抑肝散の有効性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験
申請者	宮岡 剛 (精神医学 准教授)
迅速審査の理由	軽微な変更

管理番号	20140530-2
審査事項	研究計画等の変更
課題名	加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜血管閉塞症患者の脂質酸化ストレスマーカーに関する研究
申請者	吉廻 浩子 (眼科 医科医員)
迅速審査の理由	軽微な変更

管理番号	20130412-2
審査事項	研究計画等の変更
課題名	子宮全摘術における手術用ロボットの臨床応用
申請者	京 哲 (産科婦人科学 教授)
迅速審査の理由	軽微な変更 (研究責任者の変更が含まれていたが、早急に手術を行いたいとの要望があり、リスクの増大にはつながらないとの判断で迅速審査となった。)

議題 4 研究終了報告 (35件)

次の研究の終了報告書が提出されたことが原田委員長より報告があり、了承された。

管理番号	課題名	研究責任者
20070307-1	「気虚」・「気うつ」多施設臨床研究	長井 篤 (臨床検査医学 教授)
20030724-1	子宮筋腫の発症機構に関する研究	並河 徹 (病態病理学 教授)
20110527-1	知的障害者に適した生活習慣病を予防するための運動とその評価法の検討	木原 勇夫 (生命科学 准教授)
20140215-1	食物アレルギー (口腔アレルギー症候群) に対するアンケート調査	森田 栄伸 (皮膚科学 教授)

20090501-1	無症候性頸動脈狭窄症の自然経過と治療成績に関する観察研究	三瀧 真悟 (神経内科 助教)
20120913-1	日本人のアルツハイマー型認知症患者を対象とした抗精神病薬のリスクに関する検討	長濱 道治 (精神医学 助教)
20140324-1	Restless Legs 症候群 (RLS) の精神症状に関する検討	堀口 淳 (精神医学 教授)
20130530-1	B 型肝炎創薬研究のための患者意識調査	佐藤 秀一 (光学医療診療部 准教授)
20090630-4	膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	矢野 誠司 (消化器・総合外科学 准教授)
20090908-1	肝腫瘍に対する腹腔鏡補助下肝切除術	矢野 誠司 (消化器・総合外科学 准教授)
20090914-1	1 日 1 回点眼型 β 遮断剤の緑内障に対する臨床効果の検討	谷戸 正樹 (眼科学 客員研究員)
20100129-2	ブロッコリー新芽成分内服による抗酸化酵素誘導効果	谷戸 正樹 (眼科学 客員研究員)
20110729-1	原発開放隅角緑内障 (広義) および高眼圧症患者に対するタフルプロスト点眼液とトラボプラスト点眼液の前眼部安全性に関する多施設共同並行群間クロスオーバー比較試験	谷戸 正樹 (眼科学 客員研究員)
20120910-2	倉渕町疫学研究データを用いた眼底写真解析	谷戸 正樹 (眼科学 客員研究員)
20100312-2	共鳴ラマン分光装置を使用した加齢黄斑変性の黄斑色素密度測定	谷戸 正樹 (眼科学 客員研究員)
20131219-1	アイサートマイクロ 255 挿入後の安全性を前向きに調査する多施設共同研究の疫学研究	谷戸 正樹 (眼科学 客員研究員)
20100312-1	加齢黄斑変性患者 (Ranibizumab 治療実施例) を対象としたルテイン、 ω 3 系脂肪酸含有サプリメント投与による黄斑色素密度と視機能変化に関する研究	谷戸 正樹 (眼科学 客員研究員)
20080920-1	新規プロスタグランジン系眼圧下降薬の臨床検討	谷戸 正樹 (眼科学 客員研究員)
20110829-3	口腔乾燥症の病態と温熱療法の効果ならびに口腔扁平上皮癌におけるアクアポリン発現量の検討	市山 友子 (歯科口腔外科学 大学院生)
20090227-1	ぶどう膜炎前向き疫学調査	小山 泰良 (眼科 助教)

20090227-9	加齢黄斑変性患者の血液マーカーに関する研究	小山 泰良 (眼科 助教)
20140925-1	CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテラメ イドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	木下 芳一 (内科学第二 教授)
20120619-1	白内障手術の術後眼内炎に対する前向き多施設 共同研究	谷戸 正樹 (眼科学 客員研究員)
20130829-3	認知症患者における転倒・骨折頻度調査	山口 修平 (内科学第三 教授)
20140421-1	踵骨結節裂離骨折に対する Side-Locking Loop Suture 法を用いた治療に関する研究	今出 真司 (整形外科 助教)
20110630-8	オキサリプラチンまたはパクリタキセルにより 誘発される末梢神経障害に対するプレガバリン の予防効果	直良 浩司 (薬剤部 教授)
20120306-1	トシリズマブ治療抵抗性の関節リウマチ患者に 対するインフリキシマブ治療の有効性、安全性 に関する検討	村川 洋子 (内科学第三 准教授)
20130430-9	LDL-コレステロール (LDL-C) 測定試薬に関す る検討	馬庭 恭平 (検査部 臨床検査技師)
20130826-1	全自動免疫測定装置を用いた評価研究	松田 親史 (検査部 臨床検査技師)
20110531-5	肛門周囲瘻孔、膿瘍の MR 画像の診断的有用性 の検討	吉廻 毅 (放射線部 准教授)
20090324-1	3T-MR 装置専用 Pelvic Phased Array Coil を用い た MR 検査	吉廻 毅 (放射線部 准教授)
20090831-6	3T-MR 装置を用いた前立腺 MR Spectroscopy の 研究	吉廻 毅 (放射線部 准教授)
20130627-3	高齢者糖尿病患者における糖尿病治療薬の有効 性と安全性に関する研究	金沢 一平 (内分泌代謝内科 助教)
20150130-1	嚥下機能スクリーニングテストを指標とした胃 食道逆流症 (GERD) と口腔内症状に関する後 ろ向き臨床研究	関根 浄治 (歯科口腔外科学 教授)
20130628-3	高アンモニア血症を伴う非代償性肝硬変患者に 対するカルニチン補充療法と亜鉛補充療法の検 討	佐藤 秀一 (光学医療診療部 准教授)

議題5 第51回医学系大学倫理委員会連絡会議及び研修会 参加報告

平成27年7月3日（金）～7月4日（土）に開催された第51回医学系大学倫理委員会連絡会議（当番校：新潟大学）に参加した、委員の土屋教授および委員会事務局の椿事務補佐員から、参加報告が行われた。

議題6 その他

1. 研究審査と医の倫理の審査のあり方について

副委員長の廣瀬教授より、審査のあり方について、次の提言が行われた。

- ・ 研究とは異なる新規治療および医療倫理に関する審査は、現在の医の倫理委員会とは別の専門委員会等で審査するほうがよいのではないか。
- ・ 予備審査は、准教授・講師等をメンバーとする複数の小委員会で行うこととしてはどうか。当該メンバーは将来の医の倫理委員会の委員候補でもあり、予備審査で経験を積むことにより、スムーズに委員活動に参加できるという効用もある。

今後の会議でより具体的な提案をしてもらい、検討を行うこととなった。

2. 次回（本審査）の開催予定

平成27年9月28日（月）15時